

# 執筆ガイドライン

「医療薬学」へ投稿される原稿を執筆されるにあたり、学術論文として推奨する記述方法をガイドラインとしてまとめました。執筆規定の補足としてホームページに掲載いたしますので、このガイドラインに沿って原稿を執筆いただければ幸いです。

日本医療薬学会「医療薬学」編集委員会  
(平成 26 年 8 月 1 日一部変更)

## 1. 論文の構成

### (1) 項目名

- ① 一般論文・ノートの本文の基本構成は、和文論文は、緒言、方法、結果、考察、引用文献とし、英文論文は、Introduction, Materials & Methods, Results, Discussion, References とする。必要に応じて、対象 (Subjects), 理論 (Theoretical) を独立させ項目立てしてもよい。
- ② 総説およびミニレビューの項目名は、「緒言」に対しては「結語」を用いる。

### (2) その他の項目名

利益相反について記載する場合の項目名は「利益相反 (Conflict of Interest)」(COI と略さない)とし、「引用文献」の直前に記載する。

## 2. 見出しの番号、本文中の図表の表記等

### (1) 本文

大見出し(番号を付けない)に続く小見出しの番号は、1. → (1) → ①, 以下適宜, を標準とする。

### (2) 図表の表記

- ① 本文中の Figure は、文頭を除き、Fig に統一する。文頭は略さない。
- ② 和文論文中の図表の表記は、図表の内容が英文で作成されている場合は、本文中もタイトルも Table および Fig で表記し、和文で作成されている場合は、図、表で表記する。

## 3. 記述

### (1) 統一用語

日本医療薬学会編纂の「医療薬学用語集」(平成 26 年)掲載の用語に従い統一する。

### (2) 検定の表記

検定の表記について、一般的にイタリックで表記するもの、大文字で表記するものの一部を例示する。

- |                                                  |                              |
|--------------------------------------------------|------------------------------|
| ① Fisher's exact test                            | (Fisher の正確確率検定)             |
| ② Welch's test                                   | (Welch の検定)                  |
| ③ Mann-Whitney <i>U</i> -test ( <i>U</i> はイタリック) | (Mann-Whitney の <i>U</i> 検定) |
| ④ Student's <i>t</i> -test ( <i>t</i> はイタリック)    | (Student の <i>t</i> 検定)      |
| ⑤ Paired <i>t</i> -test ( <i>t</i> はイタリック)       | (対応のある <i>t</i> 検定)          |



(7) 日付

期間を表示する場合、年月日の年が同じ場合でも、読者に明確にするため後の年は省略せず、〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日と記載する。ただし、期間の長さが明示されている場合は省略してもよい。

(例示： 2013年10月1日～5日の5日間)

(8) その他

- ① 登録商標のマーク (®) および商標のマーク (™) は、商品名ではなく商標に付ける。
- ② キーワードは固有名詞を除き、小文字で記載し、各キーワードの間は、「,」に統一する。
- ③ 方法 (Materials & Methods) の項に製品名を記載する場合は、メーカー名および所在地の都市名を記載し、これらの間に「,」を記載する。一般名称の後に特定のメーカーの製品名および仕様を記載する場合は、「一般名称 (製品名, 仕様; メーカー名, 所在地の都市名)」を記載する。
- ④ 外国企業の名称は、日本法人子会社の場合は日本法人の正式名称と所在地の都市名、日本支社の場合は、現地法人の正式名称 (原語) と本社所在地の都市名を記載する。
- ⑤ 図表中に引用する文献を引用文献リストに記載する場合は、本文中に引用する文献より後に記載する。図表に記載した引用文献番号は、掲載時に図表が本文中に記載されても、本文に合わせて番号を現れた順に変更する必要はなく、もとの番号のまま記載する。
- ⑥ 数式記号 (=, -, +, ±, ÷, ×, <, >) は、前後に半角スペースを入れる。
- ⑦ 単位と数値の間には半角スペースを入れる。

(9) 謝辞に記載する尊称

- ① 「先生」という表現は使用せず、先生方の文言は皆様方または諸氏に、〇〇先生はその肩書きなどを記載する。
- ② 「先生」が「博士」であれば「博士」と記載する。

(10) 利益相反

- ① 利益相反のない場合：以下の定型文を入れる。  
開示すべき利益相反はない
- ② 利益相反のある場合：「自己申告による COI 報告書」(様式2)の項目に係らず利益相反のある著者名とする。

例1. 薬学花子(〇〇製薬)

例2. 薬学花子(〇〇製薬、××薬品)、薬屋太郎(△△製薬)

(11) 引用文献

- ① 引用文献の引用頁の記載「(最初頁 - 最終頁)」は、共通部分を省略せずに記載する。
- ② 引用文献として省庁の通知文を記載する場合は、発信年月日、発信番号、通知名 (発信元) の順に記載する。
- ③ 引用文献として、省庁の報告書 (頁番号の記載がある場合) を記載する場合は、単行本の記載方法に従う。
- ④ オンラインジャーナル、オンライン書籍の引用は引用文献に含め、頁番号が記載され

ている場合は、引用頁を記載する。

雑誌掲載に先行してオンラインジャーナルに掲載されている場合、採択時に雑誌が発行されている場合もあるので、掲載用原稿提出時に確認し、雑誌の掲載を優先して記載する。

- ⑤ オンラインジャーナルのみで公開される雑誌については、原則として論文番号を含めた「doi」を記載する。（記載例： doi:10.1136/bmj.b2525）
  - ⑥ インターネット上の二次資料からの引用は認めない。記述の根拠となる一次資料を引用する。（例示：Up To Dateからの引用は認めない。）
  - ⑦ 海外の公的機関の通知文等は、情報の内容とURLを本文中に記載し、引用文献に含めない。（例示：NIOSHのアラート）
  - ⑧ インターネット、講演要旨集、添付文書、インタビューフォーム、社内資料および新聞からの引用は、引用文献に含めず本文中に記載する。
  - ⑨ 引用文献が法律の場合は、法律名、条項番号（本文中に記載のある場合は、記載不要）を記載する。投稿時点で引用する法律が現行法でない場合は、施行年月日を記載する。
- (12) インターネット、講演要旨集、添付文書、インタビューフォーム、社内資料、雑誌からの引用の記載方法
- ① インターネットからの引用は、URLおよびアクセスした年月日をURLの後に記載する。
  - ② 講演要旨集からの引用を記載する場合は、筆頭演者、演題番号または演題名、学術大会名、開催年月、開催地の都市名を記載する。
  - ③ 講演要旨集が雑誌に掲載されている場合は、雑誌の記載方法に準じて、本文中に記載する。
  - ④ 講演後に執筆され雑誌に掲載された論文は、雑誌の引用文献記載方法に従い、引用文献に含める。
  - ⑤ 添付文書、インタビューフォームおよび社内資料からの引用は、タイトル、社名、作成日付や改訂日付などを漏れなく記載する。
  - ⑥ 新聞からの引用は、見出し、新聞名、発行日などを漏れなく記載する。
- (13) 図表
- ① 図表共通
    - ア. 数値が小数点以下の場合は、「0.」から記載する。
    - イ. アンケート用紙は、項目を列挙するだけの場合は表、「用紙の形式」を示す場合は図として作成する。
    - ウ. 説明に略語を列記する場合は、正式名称と略語との間は「:」、次の略語との間には「,」に統一する（例示：フルスペル:略語, フルスぺル:略語,・・・）。
    - エ. 同種の、複数のグループについて説明する場合、グループ毎に「,」の記載を含む説明がある場合は、各グループの間は「;」を記載する。
    - オ. 図表のタイトルが英文の場合、固有名詞、略語などを除き、文頭のみ大文字に統一

する。タイトルに「ピリオド」は付けない。

カ. 図表の英文の説明文は、文末に「.」をつける。

② 表

ア. 表のタイトルは表の上に左寄せで、表の説明は表の下に左寄せで記載する。

イ. 表中は原則として網掛けはしない。

ウ. 表に注釈を入れる場合の記号は、原則として a), b), c), … を使用する。

a), b), c), … の記号が他で使用される場合は、以下のシンボル等を使用してもよい。

\*, \*\*, \*\*\*, … ,

1), 2), 3), … ,

\*1, \*2, \*3, … ,

‡, §, ||, ¶, \*\*, † †, ‡ ‡, § §, ||||, ¶ ¶

表中の記号は上付きとするが、説明に記載する記号は上付きとはしない。

③ 図

ア. 複数のグラフをまとめた図の各パネルの名前は、A, B, C, … を原則とする。

イ. グラフの軸タイトルおよびグラフの軸目盛の数値、図中の文字のフォントはゴシック体とする。

ウ. 図中のマーク (○, ●, □, ■, ◇, ◆等) の説明は、マークと説明の間に「:」を記載しない。

エ. 審査用の図は、掲載時の実寸でアップロードする。図の実寸は、片段の場合は幅 77 ミリ、左右一段の場合は 110 ミリ～164 ミリ前後、文字サイズは 6.5 ポイント以上とする。掲載用の図は解像度の高い図をアップロードする。

オ. 凡例は説明として記載することを原則とする。

カ. 図表一体となった図の表部分は、表の作成規準に従っていなくてもよい。

以 上